

GMP 教育訓練コース：グループワーク GW07
「技術移転・開発情報・知識の入手の重要性」

【開催概要】

テーマ： 技術移転・開発情報・知識の入手の重要性

演題：技術移転に必要な情報の特定

主催：東京理科大学 薬学部 医療薬学教育研究支援センター

開催日時：2025 年 10 月 3 日（金） 13 時～17 時

開催場所：東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館（東京都新宿区神楽坂）

申込み：GW07 申込みは[こちら](#)

申込み締切：2025 年 9 月 30 日（火）

参加費・申込み・詳細：[ホームページ](#)からチラシ（PDF）をご確認ください。

【グループワーク概要】

GW07 は原薬又は固形製剤の架空の事例を用いて、「技術移転に必要な情報の特定」に関する、以下のワークを予定しています。

[グループワーク 1]：技術移転の失敗事例の考察

個人ワーク 技術移転の失敗事例について、リスクアセスメントシートを作成する。

グループワーク 個人ワークに基づき議論し、リスクアセスメントシートをまとめる。

[グループワーク 2]：技術移転の不備の要因把握と対応策の検討

- ① 技術移転の不備に関する特性要因図を作成する。
- ② 適切に技術移転を行うために入手する情報は何か議論し、対応策を検討する。

【グループワークスケジュール】 13 時～17 時

1. 講義（GMP 対応マネジメント講座）の振り返り（重要ポイント）
2. グループワーク課題について説明
3. 自己紹介（受講者・ファシリテーター）＆役割分担（司会・書記・発表者）
1 班：5～7 名＋ファシリテーター1 名
4. グループワーク：約 90 分～120 分
 - ① 個人ワーク
 - ② グループワーク
5. グループワーク発表
6. 講師解説&意見交換

※ 上記のスケジュールは目安であり、詳細は当日の課題説明の中で説明します。

【参加対象者】

- 製造所の製造管理者やその候補となる品質保証部門（QA）等に従事する方

- 製造販売業者の GQP 部門に従事する方
- 行政の GMP 査察官
- これから製薬企業等で GMP、GQP の責任者、行政の GMP 査察官を目指す学生
- 医薬品産業を支える施設・設備/機器関連企業や原材料メーカーに従事し、GMP について深く学ぶ意思がある方 など

【対象マネジメント講座】

下記の講義を聴講した上で、グループワークに参加願います。なお、グループワーク当日午前中の聴講（現地で聴講）も可能です。GM07 申込みは[こちら](#)

GM0701 「医薬品開発及び技術移転」

GM0702 「知識管理」

GMP 教育訓練コースについて

https://www.rs.tus.ac.jp/alljapangmp/gmp_training_course.html